

研究課題名	iPS 細胞を用いた神経疾患の病態解明と治療法の探索
研究期間	実施許可日 ～ 2030 年 3 月 31 日
研究の対象	実施許可日から 2029 年 12 月の間に、広島大学病院脳神経内科もしくは共同研究機関で神経疾患、筋疾患として診療を受けた患者さん。
研究の目的・方法	研究目的：神経疾患は病態が未知な部分が多く、その解明と治療法の開発は非常に重要です。研究においては、特に遺伝子の変化を有するケースから治療法を探索し、広く一般化していく手法が用いられます。この研究の目的は患者さんの細胞から iPS 細胞を作製し、それを用いて神経細胞等に分化誘導させ病態や薬剤の効果を調べることにより、神経疾患の有効な治療方法をみつけようとするものです。作製した iPS 細胞の使用は基礎研究に限定して実験を行います。 研究方法：皮膚を採取させていただく場合は、外観上、衣服などで隠れて目立たない健常部位から採取します。まず局所麻酔薬を採取部位に直接注射しますが、この時痛みがあります。直径約 4mm、深さ約 2mm の大きさを丸く採取します。血を止めたあと糸で縫いますが、縫わずにかさぶたで治すこともあります。縫合した場合の抜糸は通常 7 日後です。なお、筋疾患の診断のために生検を実施する際は、皮膚病理検体の残余を用いるため、新たな侵襲が加わることはありません。静脈血採血の場合は、通常の採血と同様の方法で、静脈血を約 20ml 採取させていただきます。尿の場合は、通常の尿検査と同様の方法で、尿を約 20ml 採取させていただきます。基本的には血液もしくは尿で負担のかからない採取法をしますが、疾患によっては皮膚からの採取を検討する場合があります。採取した皮膚の細胞、血液中の白血球、尿中の細胞を培養して以後の研究に用います。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、罹患名、現病歴、既往歴、家族歴、遺伝学的検査 試料：皮膚もしくは血液もしくは尿
外部への試料・情報の提供	試料・情報を将来新たに計画される研究に研究に使用または他の機関へ提供する可能性があります。その場合は倫理審査委員会で審査をしたうえで提供します。

利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	試料・情報を提供する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工した上で提供します。個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文 研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文 共同研究機関 国立病院機構呉医療センター脳神経内科 責任者名 大下 智彦 県立広島病院脳神経内科 責任者名 越智 一秀 徳島大学病院脳神経内科 責任者名 和泉 唯信
その他	特になし
連絡先・お問合せ先	本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 <u>徳島大学病院 脳神経内科</u> <u>担当者：和泉 唯信</u> <u>〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町 3 丁目 18-15</u> <u>電話番号：088-633-7207</u>